

花火ってどういう仕組み！？／サマースクール 2011

サマースクールの3日目に、「炎色反応」の実験に参加しました。始めに、食塩水を使って実験をしました。ステンレス網を食塩水につけて、炎の上にかざしました。すると、黄色の火が上がりました。火が急に黄色になって、みんなとてもびっくりしていました。他にも、リチウムや、カリウム、バリウム、カルシウム、銅、ストロンチウムなどの物体を含んだ液体を使ってどんな色が出るか実験をしました。色は、それぞれちがっていて赤や黄、紫、緑、橙、緑、紅などの色がでました。

花火が赤や紫、黄色、緑にそまるのは、いろいろな金属で色が出ていることがよくわかりました。

この実験に参加して、花火を見たときに、今日の実験を思い出したいと思いました。

（「ふるさと発信」情報局員：黒岩加奈）

